平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月1日

上場会社名　宇部興産株式会社　上場取引所　東・福
コード番号　4208　ＵＲＬ　http://www.ube.co.jp
代表者　（役職名）　代表取締役社長　（氏名）竹下　道夫
問合せ先責任者（役職名）　ＩＲ広報部長　（氏名）徳光　真介　（ＴＥＬ）　03-5419-6110
四半期報告書提出予定日　平成25年11月8日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	310,801	0.0	9,077	△43.9	6,741	△54.1	6,677	△21.1
25年３月期第２四半期	310,775	△0.3	16,188	△28.5	14,676	△29.2	8,461	△30.5

（注）包括利益　26年３月期第２四半期 8,713百万円（△18.2%）　25年３月期第２四半期 10,656百万円（△13.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	6.54	6.53
25年３月期第２四半期	8.42	8.40

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	683,138	258,660	34.5
25年３月期	685,884	250,753	31.4

（参考）自己資本　26年３月期第２四半期 235,683百万円　25年３月期 215,509百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	0.00	―	5.00	5.00
26年３月期	―	0.00			
26年３月期（予想）			―	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	647,000	3.4	26,000	△13.2	19,500	△30.5	12,500	51.2	12.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	1,062,001,076株	25年３月期	1,009,165,006株
② 期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	4,229,047株	25年３月期	3,756,900株
③ 期中平均株式数　（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	1,020,393,488株	25年３月期２Ｑ	1,005,348,204株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

※　当社は、以下のとおりネットコンファレンスを開催する予定です。当日の資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成25年11月１日（金）・・・・・アナリスト、機関投資家向けネットコンファレンス

【添付資料の目次】

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
（４）当四半期の連結業績予想と実績値との差異に関する説明 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 5
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（２）追加情報 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（セグメント情報等） …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間の経済情勢は、米国では緩やかな回復が続いたものの、欧州では低迷が続き、アジアでも中国で景気の拡大テンポが減速するなど、世界経済は力強さを欠きました。一方国内経済は、復興需要の本格化に加えて円安による輸出改善効果もあり、景気は持ち直しの動きがみられたものの、依然として不透明な環境が続きました。

当社グループは、当期を初年度とする三カ年の中期経営計画「Change & Challenge – 更なる成長に向けて – 」において、３つの基本方針「持続的成長を可能にする収益基盤の強化」「グローバルでのグループ力の最大化」「資源・エネルギー・地球環境問題への対応と貢献」を掲げ、構造的な事業環境の変化にもスピード感を持って対応すべく、各事業課題の解決に向けて取り組んでまいりましたが、いまだその成果が出るには至っていません。

この結果、当社グループの連結売上高は前年同期に比べ２千６百万円増の３，１０８億１百万円、連結営業利益は７１億１千１百万円減の９０億７千７百万円、連結経常利益は７９億３千５百万円減の６７億４千１百万円、連結四半期純利益は１７億８千４百万円減の６６億７千７百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益
当第２四半期	３，１０８億円	９０億円	６７億円	６６億円
前 年 同 期	３，１０７億円	１６１億円	１４６億円	８４億円
増　減　率	０．０％	△４３．９％	△５４．１％	△２１．１％

セグメント別の概況は以下のとおりです。

化成品・樹脂セグメント

ナイロン原料のカプロラクタムは、中国での相次ぐ他社新設備稼働開始に伴う供給過剰により市況の低迷が続くとともに、タイ国工場における設備トラブル等もあり出荷が減少しました。ポリブタジエン（合成ゴム）も、ナフサ市況が高止まりする中、原料であるブタジエン市況の大幅な下落に連動し製品価格が低下したため、採算が悪化しました。ナイロン樹脂、工業薬品は総じて堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ3億８千６百万円増の1，０９７億５千７百万円、連結営業損益は５９億８千３百万円減の２０億９千３百万円の損失となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	１，０９７億円	△２０億円
前 年　同 期	１，０９３億円	３８億円
増　減　率	０．４％	－

機能品・ファインセグメント

リチウムイオン電池用の電池材料については、電解液の出荷が前年同期比で減少に転じ、またセパレーターは出荷が伸長したものの大幅な価格の下落に見舞われました。ファインケミカル製品や電子情報材料分野をはじめとするその他の機能性材料は、需要回復傾向にある製品が見られるものの、出荷は依然として低調に推移しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ１億円減の３２０億４百万円、連結営業利益は１３億７千７百万円減の４億８千７百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	３２０億円	４億円
前 年　同 期	３２１億円	１８億円
増　減　率	△０．３％	△７３．９％

医薬セグメント

自社医薬品の原体の販売については、特許期間が満了した製品もあり、出荷は前年同期を下回り、また受託医薬品の原体・中間体の販売も低調に推移しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ１５億３千万円減の４１億６千２百万円、連結営業利益は１４億６千万円減の４億８千８百万円となりました。

項　　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	４１億円	４億円
前 年　同 期	５６億円	１９億円
増　　減　　率	△２６．９％	△７４．９％

建設資材セグメント

セメント・生コン及び建材製品は、復興需要が本格化するとともに公共投資が堅調に推移し、マンション・住宅着工も持ち直してきたことから、出荷が前年同期を上回り、輸出採算も改善が進みました。各種廃棄物の原燃料へのリサイクルも堅調でした。カルシア・マグネシア製品の出荷は、鉄鋼、電子情報材料向け需要の低迷により低調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ５４億７百万円増の１，０６９億４千２百万円、連結営業利益は２２億３千９百万円増の６８億２千１百万円となりました。

項　　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	１，０６９億円	６８億円
前 年　同 期	１，０１５億円	４５億円
増　　減　　率	５．３％	４８．９％

機械・金属成形セグメント

竪型ミルや運搬機等の産業機械は、国内外メーカーとの価格競争の激化等により厳しい受注状況が続いており、出荷が前年同期を下回りましたが、自動車産業向けを中心とする成形機は、新機種の市場への浸透が進み、日系ユーザーの新興国・北米向け新設、増設案件を中心に出荷が好調でした。機械サービスも堅調に推移し、また、製鋼品は受注環境が厳しい中、出荷は堅調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ４億７千３百万円増の３４８億３千８百万円、連結営業利益は７億６千万円増の２３億９千１百万円となりました。

項　　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	３４８億円	２３億円
前 年　同 期	３４３億円	１６億円
増　　減　　率	１．４％	４６．６％

エネルギー・環境セグメント

石炭事業は、販売炭の売上数量が配船時期のずれにより減少し、また、預り炭も主要顧客の電力会社で石炭火力発電所の定期検査が行われたことなどにより、コールセンター（石炭中継基地）での取扱い数量が前年同期を下回りました。電力事業は、ＩＰＰ発電所の定期検査及びその後の設備トラブルにより売電量が大幅に減少しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ７６億８千６百万円減の２７７億５千９百万円、連結営業利益は２０億７千７百万円減の６億２千２百万円となりました。

項　　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	２７７億円	６億円
前 年　同 期	３５４億円	２６億円
増　　減　　率	△２１．７％	△７７．０％

その他のセグメント

その他の連結売上高は前年同期に比べ１５億３千５百万円増の１３９億１千９百万円、連結営業利益は１千２百万円増の４億５千４百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	１３９億円	４億円
前 年 同 期	１２３億円	４億円
増　減　率	１２．４％	２．７％

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期末の総資産は前年度末に比べ、商品及び製品などのたな卸資産が９５億１千７百万円、有形固定資産が１５億８千７百万円、投資その他の資産が１７億５千２百万円増加した一方、現金及び預金が８１億３千９百万円、受取手形及び売掛金が６４億５百万円減少したことなどにより、２７億４千６百万円減少し６，８３１億３千８百万円となりました。

負債については、未払法人税等が３０億５千６百万円、その他の流動負債が６０億２百万円減少したことなどにより、１０６億５千３百万円減少し４，２４４億７千８百万円となりました。

純資産は、宇部マテリアルズ株式会社を株式交換により完全子会社化したことなどにより、少数株主持分が１２２億８千５百万円減少し、資本剰余金が９９億２千４百万円増加しております。また剰余金の配当により利益剰余金が５０億３千５百万円減少しましたが、四半期純利益により利益剰余金が６６億７千７百万円増加、為替換算調整勘定が９１億７千万円改善したことなどにより、７９億７百万円増加し２，５８６億６千万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済情勢につきましては、国内の景気回復が期待されるものの、中国経済の先行きなど、世界景気の下振れも懸念され、事業環境は予断を許さない状況が続くことが見込まれます。

こうした情勢を踏まえ、通期の業績予想につきましては、平成２５年９月３０日に公表しましたとおり、売上高６，４７０億円、営業利益２６０億円、経常利益１９５億円、当期純利益１２５億円を見込んでおります。

（４）当四半期の連結業績予想と実績値との差異に関する説明

当第２四半期連結累計期間の業績について、平成２５年９月３０日に公表しました業績予想と下記のとおり差異が生じております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	３，１３０億円	８０億円	５０億円	５０億円	４円９０銭
実　績　値（B）	３，１０８億円	９０億円	６７億円	６６億円	６円５４銭
増　減　額（B－A）	△２２億円	１０億円	１７億円	１６億円	
増　減　率	△０．７％	１２．５％	３４．０％	３２．０％	
(ご参考)前期第２四半期実績 (平成25年３月期第２四半期)	３，１０７億円	１６１億円	１４６億円	８４億円	８円４２銭

（差異の生じた理由）

徹底したコスト削減等の収益改善努力に加え、営業外損益も改善したため、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、前回発表予想を上回りました。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（２）追加情報

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、決算日が12月31日である連結子会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っておりましたが、ウベ・ケミカル・ヨーロッパ，エスエーほか10社については連結財務情報のより適正な開示を図るため、第１四半期連結会計期間より、決算日を３月31日に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第２四半期連結累計期間は、平成25年４月１日から平成25年９月30日までの６ヶ月間を連結しております。なお、平成25年１月１日から平成25年３月31日までの３ヶ月の損益については、利益剰余金に直接計上するとともに、キャッシュ・フローについては、現金及び現金同等物の期首残高の調整項目として計上し、「関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）」に表示しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,280	28,141
受取手形及び売掛金	143,223	136,818
商品及び製品	36,272	39,583
仕掛品	19,142	21,252
原材料及び貯蔵品	26,340	30,436
その他	26,649	25,087
貸倒引当金	△507	△474
流動資産合計	287,399	280,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	88,276	86,979
機械装置及び運搬具（純額）	131,815	139,853
土地	85,099	85,371
その他（純額）	18,527	13,101
有形固定資産合計	323,717	325,304
無形固定資産		
その他	4,876	5,318
無形固定資産合計	4,876	5,318
投資その他の資産		
投資有価証券	40,786	44,006
その他	30,056	28,539
貸倒引当金	△1,076	△1,027
投資その他の資産合計	69,766	71,518
固定資産合計	398,359	402,140
繰延資産	126	155
資産合計	685,884	683,138

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,247	83,146
短期借入金	102,559	101,263
コマーシャル・ペーパー	1,999	9,999
1年内償還予定の社債	100	120
未払法人税等	5,897	2,841
賞与引当金	7,117	7,105
その他の引当金	1,221	1,164
その他	48,796	42,794
流動負債合計	250,936	248,432
固定負債		
社債	30,000	40,080
長期借入金	110,390	93,242
退職給付引当金	6,544	6,459
その他の引当金	4,836	3,660
負ののれん	1,461	1,321
資産除去債務	1,174	1,187
その他	29,790	30,097
固定負債合計	184,195	176,046
負債合計	435,131	424,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,465	38,389
利益剰余金	135,981	136,361
自己株式	△776	△890
株主資本合計	222,105	232,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,436	3,108
繰延ヘッジ損益	△278	△136
為替換算調整勘定	△8,754	416
その他の包括利益累計額合計	△6,596	3,388
新株予約権	508	526
少数株主持分	34,736	22,451
純資産合計	250,753	258,660
負債純資産合計	685,884	683,138

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	310,775	310,801
売上原価	256,095	262,192
売上総利益	54,680	48,609
販売費及び一般管理費	38,492	39,532
営業利益	16,188	9,077
営業外収益		
受取利息	283	245
受取配当金	347	311
受取賃貸料	608	537
負ののれん償却額	67	63
持分法による投資利益	556	342
その他	2,527	1,568
営業外収益合計	4,388	3,066
営業外費用		
支払利息	1,903	1,573
賃貸費用	527	364
為替差損	605	84
その他	2,865	3,381
営業外費用合計	5,900	5,402
経常利益	14,676	6,741
特別利益		
固定資産売却益	134	64
投資有価証券売却益	116	－
補助金収入	50	－
事業譲渡益	264	－
負ののれん発生益	65	2,841
特別利益合計	629	2,905
特別損失		
固定資産処分損	762	480
投資有価証券売却損	3	5
持分変動損失	213	－
減損損失	138	83
投資有価証券評価損	28	27
設備停止に係る損失	－	537
特別損失合計	1,144	1,132
税金等調整前四半期純利益	14,161	8,514
法人税等	5,607	2,269
少数株主損益調整前四半期純利益	8,554	6,245
少数株主利益又は少数株主損失（△）	93	△432
四半期純利益	8,461	6,677

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	8,554	6,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△763	673
繰延ヘッジ損益	△38	145
為替換算調整勘定	2,863	934
持分法適用会社に対する持分相当額	40	716
その他の包括利益合計	2,102	2,468
四半期包括利益	10,656	8,713
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,598	9,567
少数株主に係る四半期包括利益	58	△854

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,161	8,514
減価償却費	15,417	15,829
減損損失	138	83
負ののれん償却額	△67	△63
負ののれん発生益	△65	△2,841
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△216	△113
受取利息及び受取配当金	△630	△556
支払利息	1,903	1,573
為替差損益（△は益）	△15	170
持分法による投資損益（△は益）	△556	△342
固定資産売却損益（△は益）	△164	△81
売上債権の増減額（△は増加）	4,875	9,119
たな卸資産の増減額（△は増加）	△7,969	△7,373
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,063	△2,570
その他	1,644	△752
小計	26,393	20,597
利息及び配当金の受取額	1,452	1,030
利息の支払額	△2,044	△1,635
補償金の受取額	676	907
法人税等の支払額	△7,484	△5,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,993	15,851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△18,476	△18,857
有形固定資産の売却による収入	362	94
投資有価証券の取得による支出	△1	△104
投資有価証券の売却による収入	39	7
関係会社株式の取得による支出	△4,341	△2,694
関係会社株式の売却による収入	4,021	7
短期貸付金の増減額（△は増加）	142	△34
その他	62	△209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,192	△21,790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△32	△1,951
コマーシャル・ペーパーの増減額（△は減少）	△0	8,000
長期借入れによる収入	12,427	4,719
長期借入金の返済による支出	△16,798	△21,581
社債の発行による収入	14,925	10,053
社債の償還による支出	△15,000	－
少数株主からの払込みによる収入	9,663	－
配当金の支払額	△5,047	△5,048
少数株主への配当金の支払額	△1,081	△390
その他	△776	△606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,719	△6,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	217	888
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△701	△11,855
現金及び現金同等物の期首残高	33,107	35,962
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	－	327
関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	－	3,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,406	27,722

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年８月１日を効力発生日として当社を株式交換完全親会社とし、連結子会社である宇部マテリアルズ株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。当該株式交換を主因として、当第２四半期連結累計期間において資本剰余金が9,924百万円、自己株式が114百万円それぞれ増加しております。この結果、当第２四半期連結会計期間末において資本剰余金が38,389百万円、自己株式が890百万円となっております。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	化成品・樹脂	機能品・ファイン	医薬	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	102,732	30,113	5,692	99,124	33,696	28,386	11,032	310,775	－	310,775
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,639	1,991	－	2,411	669	7,059	1,352	20,121	△20,121	－
計	109,371	32,104	5,692	101,535	34,365	35,445	12,384	330,896	△20,121	310,775
セグメント利益（営業利益）	3,890	1,864	1,948	4,582	1,631	2,699	442	17,056	△868	16,188

（注1）　セグメント利益の調整額△868百万円には、セグメント間取引消去△31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△837百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

（注2）　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	化成品・樹脂	機能品・ファイン	医薬	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	103,312	29,698	4,162	104,312	34,344	22,518	12,455	310,801	－	310,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,445	2,306	－	2,630	494	5,241	1,464	18,580	△18,580	－
計	109,757	32,004	4,162	106,942	34,838	27,759	13,919	329,381	△18,580	310,801
セグメント利益又は損失（△）（営業利益又は損失（△））	△2,093	487	488	6,821	2,391	622	454	9,170	△93	9,077

（注1）　セグメント利益又は損失（△）の調整額△93百万円には、セグメント間取引消去48百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△141百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

（注2）　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれん発生益）

「建設資材」セグメントにおいて、当社を株式交換完全親会社とし、宇部マテリアルズ株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施したことにより、負ののれん発生益を2,841百万円計上しております。